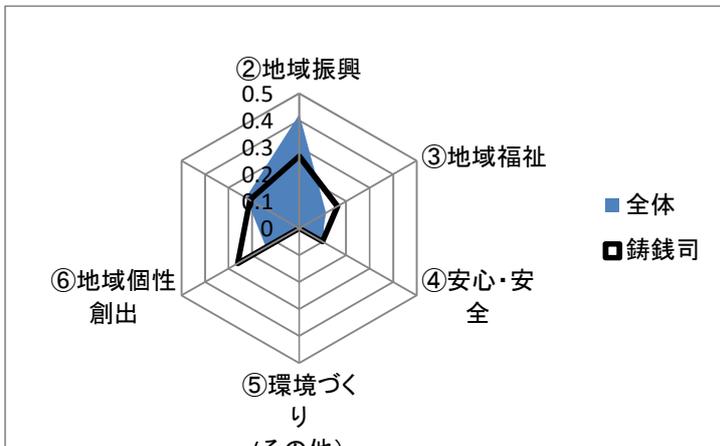


鑄銭司自治会 地域づくり交付金事業概要(令和5年度)

■地域の情報

地域人口	2,628人	自治会数	18
世帯数	844世帯	自治会加入率	87.8%

※数値は、令和6年4月1日のもの



■決算状況

交付金配分枠	11,055,000 円
交付金決算額	11,055,000 円
その他収入	81,044 円
交付金決算額／配分額	100.0%

各分野の決算

① 協議会運営	4,686,520 円
② 地域振興	640,171 円
③ 地域福祉	390,696 円
④ 安心・安全	238,141 円
⑤ 環境づくり(土木工事)	4,054,000 円
⑤ 環境づくり(その他)	625,273 円
⑥ 地域個性創出	501,243 円
決算総額	11,136,044 円

■地域づくりの活動方針(テーマ)

「みんなでつくろう 明るい鑄銭司」をキャッチフレーズに、地域住民と各団体が協力して住みよい地域づくりを推進する。

■総括

第3次地域づくり5カ年計画の3年目であったが、新型コロナの5類への移行により新年互礼会やふるさと祭りなど、地区民が交流する事業を再開することができた。また、令和4年度に続きウォーキングの推進を継続実施できたことは、健康づくり事業の進め方として今後にはずみがあった。

■分野別事業名

① 協議会運営	事務局長給与、事務局員給与、事務費
② 地域振興	地域情報発信事業、地域振興・交流事業
③ 地域福祉	子ども教育・高齢者福祉関係事業、健康づくり事業
④ 安心・安全	防犯対策推進事業、防災活動推進事業、交通安全推進事業
⑤ 環境づくり	土木工事、環境美化運動事業
⑥ 地域個性創出	地域資源PR事業、伝統文化の継承事業、ふるさと歴史勉強会事業、周防鑄銭司遺跡発掘調査支援事業

■重点的に取り組んだ事業

①	事業名	健康づくり事業	決算額	33,846円
	目的	健康づくりを目的としたスポーツ交流の推進		
	実施内容	フレイル予防に向けたウォーキング実施		
	実施時期	9月～2月末		
	参加人数	40人		
	成果	記録表に日々歩いた歩数を記入することにより運動量を実感でき、継続的な運動習慣を身に付けることにつながった。また、期間中の到達歩数によりくじ引きを行うことで、やる気を増進させた。		
	評価	ウォーキングによる運動機能の向上によりフレイル予防につながった。		
今後に向けて	ウォーキングの裾野を広げていき、地域の健康寿命を延ばす取り組みを行う。			
②	事業名	地域資源PR事業	決算額	312,108円
	目的	後世に残すべく貴重な資源の発掘		
	実施内容	①地域行事と資源を載せたカレンダー制作 ②写真講座開催		
	実施時期	①3月 ②6月、8月		
	参加人数	①750世帯・51社・14施設 ②20人		
	成果	①「鑄銭司の風景」と題し、四季折々の鑄銭司の風景や行事の写真と地域の行事を載せたカレンダーを発行した。 ②講師を迎え、講習会を2回開催。		
	評価	①地域行事日程を知ってもらうことで、自治会活動への理解と協力を得られやすくなった。また地域の再発見に繋がった。 ②講座を受講してもらい、地域カレンダーに掲載した地域の写真を多く提供してもらった。		
今後に向けて	地域の主要な行事が確認できるカレンダーとして、地域行事や活動に興味もってもらい参画する人の拡大につなげていく。			
③	事業名	防災活動推進事業費	決算額	19,456円
	目的	地域住民の安全確保のための防災意識の向上と避難行動の徹底		
	実施内容	防災訓練の実施		
	実施時期	10月		
	参加人数	127人		
	成果	岡区の代表者101名と現地対策本部26名の合計127名が参加する形での避難訓練、その他の地区では情報伝達訓練を実施し、防災学習会として岡区で防災座談会を実施した。座談会では、過去に経験した災害の紹介や、危険個所の情報共有ができた。単位自治会長を中心に24名が参加して救命講習会を行った。		
	評価	単位自治会が主体的に災害想定を行い、緊急連絡網の整備や、連絡がつかなかった世帯への安否確認、避難所への誘導など、各地区の実情に応じた防災訓練ができた。		
今後に向けて	南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施する。			